

※市町担当者が提出期限・問い合わせ先を記入すること。

整理番号

市町名

集落名

令和5年度 愛媛県 集落实態調査

集落用 調査票

○この調査は、集落代表者の方に、集落の現状や問題点をお伺いすることによって、県や市町の今後の集落対策の検討材料とすること等を目的に、県と市町が共同で実施するものです。

○ご回答いただいた調査結果を集計し、統計的に処理したうえで、公表する予定です。（個人や集落を特定できる内容などは公表しません。）

○この調査票の提出方法や期限について質問がございましたら、市役所（町役場）の下記担当までお問い合わせください。

■提出期限

■お問い合わせ先

あなたがお住まいの集落のことについてお伺いします。
ご回答は太線の枠囲みに記入をお願いします。

質問1. 毎日の食料品等が買える最寄りのお店の場所はどこですか。該当する番号を選んでください。

1. 集落内 2. 集落外

質問2. 集落の中心部（集会所など）から、毎日の食料品等が買える最寄りのお店までの道のりについて、おおよその距離(km)を記入してください。

km

質問3. 集落で自家用車を持っていない高齢者が、買い物をする方法について、該当する番号を全て選んでください。（複数回答可）

1. もともと自宅近くにある商店で買う
2. 移動スーパーや臨時に開くお店を利用する
3. 宅配などで食料品等を届けてもらう
4. バスやタクシーなどで街に出かける
5. 近所の人と共同で食料品等を買う
6. 親族が食料品等を届けてくれる
7. その他

質問4. あなたの集落に食料品等を販売する移動販売者（車）がやって来ますか。該当する番号を1つ選んでください。

1. 定期的に来る
2. 不定期だが来る
3. 以前は来ていたが今は来ない
4. 来たことはない

質問5. 今後、集落で高齢者が買い物をする際にあつたらいいと思うサービスはありますか。最も希望する番号を1つ選んでください。

1. 地元商店、JA等による移動販売サービス
2. 商店やスーパーへの移動支援（デマンドタクシー、送迎バスなど）
3. 買い物代行サービス
4. 地元商店の営業継続や商店の新設
5. 特になし（現状のままでよい）

質問6. 集落が主体となって行っている活動について、次の「活動状況の選択肢」1～7から最も近いものを1つずつ選んでください。

※他集落や他地区からの応援・手助けを得て実施しているものを除きます。

活動状況の選択肢

1. 存在しており、5年以上前から活動状況に変化なし
2. 存在しており、およそ5年前に比べると盛んになった
3. 存在しており、およそ5年前に比べると衰退または廃止した
4. 存在しており、過去5年以内に新しくできた
5. 元々存在していない
6. 今は存在していないが、以前はあった
7. 今は存在していないが、集落で新たに組みたいという話が出ている

※それぞれの活動について、上記選択肢1～7のいずれかを全てご記入をお願いします。

伝統行事、お祝い行事（お祭り、盆踊り、敬老会など）		婚礼、葬儀などの神事・仏事（集落単位で行ってる場合に限る）	
スポーツ・文化イベント（運動会、音楽会など）		集落内の住民交流（旅行、懇親会など）	
防災、防火、防犯、交通安全（訓練、パトロール、街灯管理など）		移動支援（送迎など）	
食事提供支援（弁当配達など）		買い物支援（買い物代行など）	
道路、用水路の管理など環境美化活動（草刈り、用水路掃除など）		空き家の管理	
耕作放棄地の管理		高齢者の福祉活動（ひとり暮らし高齢者訪問など）	
子どもの福祉活動（学童保育、母親の集まり、子どもの見守りなど）		ものづくり活動（工芸、手芸など）	
歴史文化の伝承（郷土料理の伝承、郷土史の学習など）		集落外の人々との交流活動（農林漁業体験など）	
集落外への情報発信（パンフレット、ホームページなど）		集落と行政との話し合い	
地域製品の加工・販売		農業の振興（農地の共同管理、担い手の確保など）	
林業の振興（山林の共同管理、担い手の確保など）		漁業の振興（漁場の共同管理、担い手の確保など）	

質問7. 集落の主体的な活動のあと、自分たちで広報紙などをつくり、集落の住民に向けて活動の様子を紹介していますか。該当する番号を1つ選んでください。

広報紙などで活動を 1. 紹介している 2. 紹介していない

質問8. 集落外に向けて、自分たちでパンフレットやホームページをつくり、集落のPRを行っていますか。該当する番号を1つ選んでください。(集落として実施しているものに限る。)

集落外へのPRを 1. している 2. していない

質問9. 集落外にお住まいの方が、集落の活動を手伝いに来ることがありますか。該当する番号を1つ選んでください。※家族や親族の方は除きます。

集落外の方が手伝う活動が 1. ある 2. ない

1の場合は、その内容について、該当する番号を全て選んでください。

手伝いに来る活動の選択肢

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 伝統行事、お祝い行事 | 2. 婚礼、葬儀などの神事・仏事 |
| 3. スポーツ・文化イベント | 4. 集落内の住民交流 |
| 5. 防災、防火、防犯、交通安全 | 6. 移動支援 |
| 7. 食事提供支援 | 8. 買い物支援 |
| 9. 道路、用水路の管理など環境美化活動 | 10. 空き家の管理 |
| 11. 耕作放棄地の管理 | 12. 高齢者の福祉活動 |
| 13. 子どもの福祉活動 | 14. ものづくり活動 |
| 15. 歴史文化の伝承 | 16. 集落外の人々との交流活動 |
| 17. 集落外への情報発信 | 18. 集落と行政との話し合い |
| 19. 地域産品の加工・販売 | 20. 農業の振興 |
| 21. 林業の振興 | 22. 漁業の振興 |

質問10. 住民が自由におとずれ、井戸端会議ができるようなたまり場(建物)が集落内にありますか。該当する番号を1つ選んでください。

自由に雑談ができるたまり場(建物)が 1. ある 2. ない

質問11. 集落の代表者をどのように選びますか。該当する番号を1つ選んでください。

1. 順番が回って来る 2. 総会参加者による合意
3. 役員等による合意 4. 選挙・多数決

質問12. 集落内で定期的な話し合いの回数について、最も近い番号を1つ選んでください。

1. 0回(話し合いなし) 2. 年1回～半年に1回
3. 2～4か月に1回 4. 月1回
5. 月2回以上

質問13. 上の質問12で、「定期的な話し合いがある(「1. 0回」以外を選択)」と答えた集落について、話し合いに参加する女性や65歳未満の人の割合について、最も近い番号を1つ選んでください。

女性の参加は 1. ゼロまたはほぼゼロ 2. 4分の1
3. 半数 4. 女性の方が多い

65歳未満の参加は 1. ゼロまたはほぼゼロ 2. 4分の1
3. 半数 4. 65歳未満の方が多い

質問14. 集落内で深刻な問題として話が出ている内容がありますか。次の選択肢1～18の中から5つまで選んでください。

深刻な問題の選択肢

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 一度集落を離れた人が戻らないこと | 2. 地域外との交流がないこと |
| 3. 自治会・町内会などの運営 | 4. 伝統文化や祭りなどの行事 |
| 5. 鳥獣被害 | 6. 耕作放棄地の管理 |
| 7. 空き家の管理 | 8. 農林水産業の担い手不足 |
| 9. 道路や用水路などの管理 | 10. 台風、水害、土砂災害などへの備え |
| 11. ゴミの収集 | 12. 病院への通院や往診 |
| 13. 食料品などの買い物 | 14. 街への移動 |
| 15. 高齢者の介護の支援 | 16. 子育ての支援 |
| 17. 小・中・高校への通学 | 18. 生計が立つ仕事 |

質問15. 集落の会合以外に、住民との連絡方法はありますか。該当する番号を全て選んでください。(複数回答可)

1. 放送 2. 文書、紙の回覧板 3. 住宅への訪問
4. 電話 5. スマートフォンのLINEやメールなど
6. その他

質問16. 過去5年以内に、集落内に出身者の帰郷や外部からの移住（出身者でない者）がありましたか。該当する番号を全て選んでください。

1. 県外からの帰郷者がいる 2. 県外からの移住者がいる
3. 県内からの帰郷者がいる 4. 県内からの移住者がいる
5. どこからかは不明だが、帰郷者がいる 6. どこからかは不明だが、移住者がいる

質問17. 今後の集落の活動を維持、活性化するために、集落外の人材（ボランティアなど）を受け入れたいと思いますか。該当する番号を1つ選んでください。

1. 受け入れたい 2. 受け入れたくない 3. わからない

質問18. 集落の活動や運営に関して、「いま行政（市・町）から受けている支援」や「今後行政（市・町）にやってほしい支援」はありますか。それぞれ該当する番号を全て選んでください。

行政（市・町）からの支援の選択肢

1. 活動や運営を続けるためのお金 2. 新たな活動を始めるためのお金
3. 活動や運営を手伝う人や団体 4. 活動のヒントとなる情報の提供
5. 活動の悩みに関する相談対応 6. 新たな活動のきっかけとなる企画提案
7. その他の支援 8. 行政からの支援はない

いま行政（市・町）から受けている支援の番号（複数回答可）

今後行政（市・町）にやってほしい支援の番号（複数回答可）

質問19. 集落と行政（市・町）が話し合う機会がありますか。該当する番号を1つ選んでください。また、1、2または3の場合は、回数を教えてください。

1. 市または町全体で、行政と話す機会がある
2. 旧町村や小学校区などの範囲で話す機会がある
3. 集落単位（代表者または住民）で、行政と話す機会がある
4. 行政との話し合いの場は基本的でない

1、2または3の場合 話し合いの場は、年に 回

質問20. あなたの集落は、10年後にどのようなになっていると思いますか。該当する番号を1つ選んでください。

1. 今より活気がある
2. 今と変わらない状態で存続している
3. 今より衰退しているが存続している
4. 存続しているが、活動は全くできなくなっている
5. 消滅しているかもしれない
6. わからない

質問21. あなたの集落に対する10年後の不安をお聞かせください。次の選択肢1～5から最も近いものを1つずつ選んでください。

選択肢

1. 大いに不安 2. 不安 3. やや不安 4. 特に不安はない 5. わからない

※それぞれの内容について、上記選択肢1～5のいずれかを全てご記入をお願いします。

日常の交通手段	<input type="checkbox"/>	買い物（食料品や日用品）	<input type="checkbox"/>
病院や診療所などの医療機関	<input type="checkbox"/>	保育所などの子育て環境	<input type="checkbox"/>
子どもの教育環境	<input type="checkbox"/>	老人ホームなどの介護環境	<input type="checkbox"/>
雇用の場	<input type="checkbox"/>	田畑の維持管理	<input type="checkbox"/>
山林の維持管理	<input type="checkbox"/>	相互扶助（集落内の付き合い）の継続	<input type="checkbox"/>
集落の共同作業（草刈りなど）の継続	<input type="checkbox"/>	集落の祭りや伝統行事の継続	<input type="checkbox"/>
災害等の避難	<input type="checkbox"/>	後継者不足	<input type="checkbox"/>

質問22. あなたの集落を存続または発展させるために、今後10年以内に検討してもよいと思う項目の番号を全て選んでください。

1. 住民主体の将来に向けた計画づくり
2. 集落の将来についての行政との話し合い
3. 近くの集落と合同で、買い物支援や市街地への送迎
4. 集落の行事を、近くの集落と共同で実施
5. 集落内外における交流拠点づくり
6. 集落の資源を生かした特産品開発やイベント開催
7. 今より広い範囲で、新たな地域づくりの組織や団体・法人の設立
8. 集落の活動をサポートする集落外からの担い手の確保
9. 近くの集落との統合・合併
10. 集落の移転

質問23. あなたが暮らす集落の魅力を教えてください。次の選択肢1～12の中から該当する番号を3つまで選んでください。12を選んだ場合は、内容を記入してください。

集落の魅力の選択肢

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 自然に恵まれている | 2. 気候が穏やかで過ごしやすい |
| 3. 伝統文化が守られている | 4. 農林水産物を供給している |
| 5. 食べ物がおいしい | 6. 人情がある |
| 7. 健康に暮らすことができる | 8. 山林が洪水防止に役立っている |
| 9. 生活関連施設が整っている | 10. 交通の便がよい |
| 11. 活気がある | |
| 12. その他 | |

12を選んだ場合の内容

質問24. これまでの回答の補足、集落の活動や運営に関してのご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

※市町担当者が地域活動組織名・提出期限・問い合わせ先を記入すること。

整理番号

市町名

地域活動組織名

令和5年度 愛媛県 集落实態調査

地域活動組織用 調査票

○この調査は、複数集落群の代表者の方に、組織の現状や問題点をお伺いすることによって、県や市町の今後の集落対策の検討材料とすること等を目的に、県と市町が共同で実施するものです。

注：地域活動組織とは

複数集落の住民が中心となって形成され、地域の課題解決に向けた取り組みを持続的に行う団体または組織の総称です。

○ご回答いただいた調査結果を集計し、統計的に処理したうえで、公表する予定です。（個人や地域を特定できる内容などは公表しません。）

○この調査票の提出方法や期限について質問がございましたら、市役所（町役場）の下記担当までお問い合わせください。

■提出期限

■お問い合わせ先

あなたが活動する地域活動組織のことについてお伺いします。
ご回答は太線の枠囲みに記入をお願いします。

質問1. あなたが活動する組織は、いつ頃つくられましたか。該当する番号を1つ選んでください。

1. 20年以上前
2. 15～19年前
3. 10～14年前
4. 5～9年前
5. 過去4年以内

質問2. 組織を構成する団体について、該当する番号を1つ選んでください。

1. 1自治会のみで構成
2. いくつかの自治会だけで構成
3. 自治会と自治会以外の団体などで構成
4. 自治会以外で構成

質問3. 地域の課題解決に向けた取組や活動を行うために、分野別に部会を設けていますか。設けている場合は、部会の数を書いてください。

(部会がない場合は「0」を記入)

部会

質問4. 組織の活動拠点はありますか。該当する番号を1つ選んでください。

- 活動拠点は
1. 自治体所有の建物
 2. 地域所有の建物
 3. 役員など個人所有の建物
 4. ない

質問5. 組織を設立した目的やきっかけについて、該当する番号を全て選んでください。
(複数回答可)

1. 地域で暮らす住民からの要望
2. 地域で行う活動や行事の担い手の減少や高齢化
3. 地域で暮らすために必要な生活・交通機能の充実
4. 地域の産業や雇用、観光の活性化
5. 行政からの働きかけ
6. その他

質問6. 組織の運営や活動に対する収入源について、該当する番号を全て選んでください。
(複数回答可)

1. 補助金・助成金
2. イベントなどの委託料・施設などの指定管理料
3. 住民など会員から定期的に集める会費
4. 管理建物やサービスの利用者から集める利用料
5. 物品販売などで得る収益
6. その他

質問7. 組織を運営する役員(会長・副会長など)以外に事務局業務をする人がいますか。
該当する番号を1つ選んでください。

1. 事務局業務をする人がいない
2. 行政職員が事務局業務をしている
3. 行政職員でない事務局スタッフがいる

質問8. 組織が法人格を有していますか。該当する番号を1つ選んでください。
(注) 認可地縁団体の場合は、「1. 法人である」を選んでください。

この組織は 1. 法人である 2. 法人でない

質問9. 地域の主体的な活動のあと、自分たちで広報紙などをつくり、地域の住民に向けて活動の様子を紹介していますか。該当する番号を1つ選んでください。

広報紙などで活動を 1. 紹介している 2. 紹介していない

質問10. 地域外に向けて、自分たちでパンフレットやホームページをつくり、地域のPRを行っていますか。該当する番号を1つ選んでください。

地域外へのPRを 1. している 2. していない

質問11. 地域内の住民が自由におとずれ、気楽に話し合うことができる建物が地域内にありますか。該当する番号を1つ選んでください。

自由に雑談ができる建物が 1. ある 2. ない

質問 12. 組織が主体となって行っている活動について、次の「活動状況の選択肢」1～7から最も近いものを1つずつ選んでください。

※地区内にある集落を単位として実施しているものを除きます。

活動状況の選択肢

1. 存在しており、5年以上前から活動状況に変化なし
2. 存在しており、およそ5年前に比べると盛んになった
3. 存在しており、およそ5年前に比べると衰退または廃止した
4. 存在しており、過去5年以内に新しくできた
5. 元々存在していない
6. 今は存在していないが、以前はあった
7. 今は存在していないが、集落で新たに組みたいという話が出ている

※それぞれの活動について、上記選択肢1～7のいずれかを全てご記入をお願いします。

伝統行事、お祝い行事（お祭り、盆踊り、敬老会など）		婚礼、葬儀などの神事・仏事（集落単位で行っている場合に限る）	
スポーツ・文化イベント（運動会、音楽会など）		地域内の住民交流（旅行、懇親会など）	
防災、防火、防犯、交通安全（訓練、パトロール、街灯管理など）		移動支援（送迎など）	
食事提供支援（弁当配達など）		買い物支援（買い物代行など）	
道路、用水路の管理など環境美化活動（草刈り、用水路掃除など）		空き家の管理	
耕作放棄地の管理		高齢者の福祉活動（ひとり暮らし高齢者訪問など）	
子どもの福祉活動（学童保育、母親の集まり、子どもの見守りなど）		ものづくり活動（工芸、手芸など）	
歴史文化の伝承（郷土料理の伝承、郷土史の学習など）		地域外の人々との交流活動（農林漁業体験など）	
地域外への情報発信（パンフレット、ホームページなど）		地域と行政との話し合い	
地域製品の加工・販売（直売所の設置・運営など）		農業の振興（農地の共同管理、担い手の確保など）	
林業の振興（山林の共同管理、担い手の確保など）		漁業の振興（漁場の共同管理、担い手の確保など）	

質問13. 地域外にお住まいの方が、地域の活動を手伝いに来ることがありますか。該当する番号を1つ選んでください。※家族や親族の方は除きます。

地域外の方が手伝う活動が 1. ある 2. ない

1の場合は、その内容について、該当する番号を全て選んでください。

手伝いに来る活動の選択肢

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 伝統行事、お祝い行事 | 2. 婚礼、葬儀などの神事・仏事 |
| 3. スポーツ・文化イベント | 4. 集落内の住民交流 |
| 5. 防災、防火、防犯、交通安全 | 6. 移動支援 |
| 7. 食事提供支援 | 8. 買い物支援 |
| 9. 道路、用水路の管理など環境美化活動 | 10. 空き家の管理 |
| 11. 耕作放棄地の管理 | 12. 高齢者の福祉活動 |
| 13. 子どもの福祉活動 | 14. ものづくり活動 |
| 15. 歴史文化の伝承 | 16. 集落外の人々との交流活動 |
| 17. 集落外への情報発信 | 18. 集落と行政との話し合い |
| 19. 地域産品の加工・販売 | 20. 農業の振興 |
| 21. 林業の振興 | 22. 漁業の振興 |

質問14. 組織内での定期的な話し合いの回数について、最も近い番号を1つ選んでください。(規模を問わず、定期的実施している話し合いの回数としてください。)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 0回(話し合いなし) | 2. 年1回～半年に1回 |
| 3. 2～4か月に1回 | 4. 月1回 |
| 5. 月2回以上 | |

質問15. 上の質問14で、「定期的な話し合いがある(「1. 0回」以外を選択)」と答えた組織について、話し合いに参加する女性や65歳未満の人の割合について、それぞれ最も近い番号を1つ選んでください。

女性の参加割合は

1. ゼロまたはほぼゼロ
2. 4分の1
3. 半数
4. 女性の方が多い

65歳未満の参加割合は

1. ゼロまたはほぼゼロ
2. 4分の1
3. 半数
4. 65歳未満の方が多い

質問16. 組織と行政（市・町）が話し合う機会がありますか。該当する番号を1つ選んでください。また、1、2または3の場合は、回数を教えてください。

1. 市または町全体で、行政と話す機会がある
2. 旧町村や小学校区などの範囲で話す機会がある
3. 組織単位（代表者または住民）で、行政と話す機会がある
4. 行政との話し合いの場は基本的くない

1、2または3の場合

話し合いの場は、年に

回

質問17. 組織を継続的に運営する上での課題はありますか。該当する番号を全て選んでください。（複数回答可）

1. 組織のリーダーとなる人材の確保
2. 事務局運営を担う人材の確保
3. 活動の担い手となる人材の確保
4. 地域住民の当事者意識や活動意識の不足
5. 地域住民の活動への理解不足
6. 活動資金の不足
7. 活動のノウハウ不足
8. 事務局運営のノウハウ不足
9. 自治会・町内会との関係、役割分担
10. 活動拠点の確保
11. 取り組むべき地域課題の設定や住民との合意形成
12. 特にない
13. その他

質問 18. 地域の活動や運営に対して、行政（市・町）から受けている支援はありますか。該当する番号を全て選んでください。（複数回答可）

1. 活動や運営を続けるためのお金
2. 新たな活動を始めるためのお金
3. 会計事務や会合などの運営を手伝う人や団体
4. イベントなどの活動を手伝う人や団体
5. 活動のヒントとなる情報の提供
6. 活動のお困りごとに関する相談対応
7. 新たな活動のきっかけとなる企画提案
8. その他の支援
9. 行政からの支援はない

質問19. 代表者の後継ぎはいますか。該当する番号を1つ選んでください。

- 後任について
1. 決まっているまたはイメージできる
 2. 決まっていないまたはイメージできない
 3. わからない

質問20. 組織が活動している地域は、10年後にどのようなになっていると思いますか。該当する番号を1つ選んでください。

1. 今より活気がある
2. 今と変わらない状態で存続している
3. 今より衰退しているが地域は存続している
4. 存続しているが、活動は全くできなくなっている
5. 消滅しているかもしれない
6. わからない

質問21. 組織が活動している地域を存続または発展させるために、今後10年以内に検討してもよいと思う項目の番号を全て選んでください。(複数回答可)

1. 住民主体の将来に向けた計画づくり
2. 地域全体の将来についての行政との話し合い
3. 近くの地域と合同で、買い物支援や市街地への送迎
4. 地域の行事を、近くの地域と共同で実施
5. 地域内外における交流拠点づくり
6. 集落の資源を生かした特産品開発やイベント開催
7. 今より広い範囲での活動を実施
8. 地域の活動をサポートする地域外からの担い手の確保

質問22. 国や県、市町が行う人材確保の取組みを活用していますか。または、活用したいと思いますか。それぞれ該当する番号を全て選んでください。(複数回答可)

1. 地域おこし協力隊
(移住してきた者が地域活動をしながら住み続けることを目指す。)
2. 集落支援員
(地域の状況を明らかにしながら住民の話し合いをサポートする。)
3. 元気な集落づくり応援団
(県内の企業や団体が、地域の清掃・祭りのボランティアを行う。)

現在活用している制度の番号(複数回答可。無い場合は空欄)

今後、活用を検討してもよいと思う制度の番号(複数回答可)

地域活動組織用調査票

市町名 整理番号 -7

質問23. これまでの回答の補足、地域の活動や運営に関してのご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。